

福井県坂井市教育委員会

(概要)

- ・ 設置校数：小学校 19 校、中学校 5 校
- ・ 環境を考慮した学校施設（エコスクール）として既に取り組んでいる学校数：小学校 1 校、中学校 1 校
- ・ エコスクールへの取組時期：H18 年 4 月～
- ・ エコスクール化の方針 省エネルギー・省資源型の整備に努める
- ・ 要旨

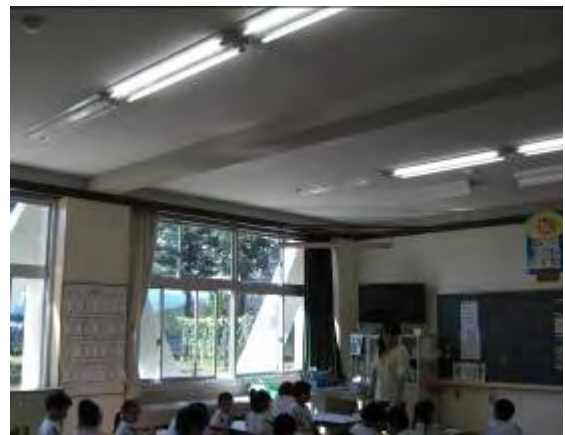
坂井市には丸岡南中学校以外に中学校が 4 校あり、平成 23 年度より順次耐震改修工事を行う。そのなかで、屋上の外断熱、複層ガラスの使用による断熱化を図り、省エネ型照明や自然採光・通風を取り入れる工夫をし、電力消費の抑制に努める。

(エコスクール化の内容)

エコスクール事業で整備した丸岡南中学校以外の坂井市内の中学校については、屋上の外断熱、複層ガラスの使用による断熱化および省エネ型照明や自然採光・通風を取り入れる工夫をし、電力消費の抑制に努める。

ただし、財政難の中で耐震補強・大規模改造を行っていくため、太陽光発電や外壁断熱など財政に負担を及ぼすのか、目に見えて効果が現れるのかは疑問なこともあり、過大に整備に取り組めない。

また、教材として地域まで巻き込んだ活動にまで発展させることが困難であり、丸岡南中学校の開校以来の課題となっている。



三国西小学校 窓際の電気は点灯を控える



(春江東小学校 太陽光パネルの仕組みを学ぶ)

(エコスクール化の効果)

省エネへの意識が高まり、こまめに電気を消したり、天気の良い日は窓際の照明を付けないなどの取り組みを行う学校が増えた。

また、小学校では緑のカーテンによる日射遮蔽に取り組んだ。



緑のカーテン（三国南小学校）

(地域等の環境・エネルギー教育、意識向上)

丸岡南中学校と同じ地域にある鳴鹿小学校は、環境省のエコ改修を行ったが、その採択に至るまでにビオトープを保護者を交えた地域住民にて拡張整備した。

また、市内の多くの小学校では、ルーバーのようなハード整備をするのではなく、緑のカーテンによる日射遮蔽に取り組んだ。

H23 年度には全ての小学校で取り組む計画である。



ビオトープの整備



緑のカーテン